



三河商人道

PART
97

株式会社 ハットリマーケティング
代表取締役 服部直己 君

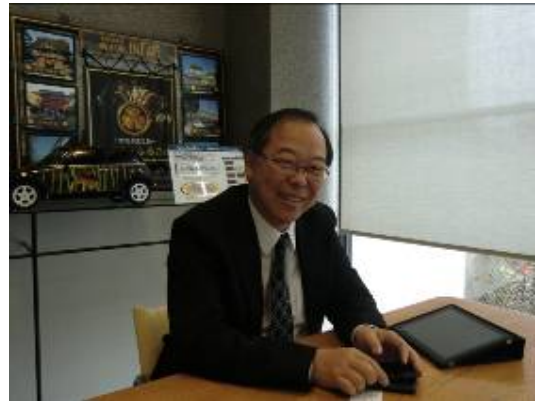
岡崎市東大友町を通った方なら誰でも立派な看板が印象に残る、『株式会社ハットリマーケティング』の服部さん。冒頭のように「人々の脳裏に残る印象的、個性的な看板」を企画から設計、施工までされておられます。

入社当初70年代後半の看板といえば、手書きが主流の職人全盛の時代でしたが、同じ看板を複数作成しなければならない場合、どうしても効率的によくないと考え、当時看板業界としては画期的なシルクスクリーン印刷、写植機、カッティングマシーンなど次々に最新技術を導入することにより、車両看板、ウィンドウサイン、案内板、のぼり、Tシャツなど年々増え続ける多種多様なニーズに対応してきました。しかし、誰もが同じような装置を手に入るようになった現在、これからは、アイデア、感性の時代とし、人材育成の一環の中でも看板業としての本質は、テレビ、インターネット、新聞、雑誌など様々な媒体の知識が必要との事で、これらの知識を生かし、問題解決業として印象に残る看板「看客万来」を目指し顧客の要望に応えるよう心がけているそうです。

企業展などのイベントにもよく足を運び最近のトレンドを見るようにしているそうです。やはり時代を先取りし更なる上を目指すには、新しい情報をいかに取り入れるかが大事だと教えていただきました。また、服部さんは、YEG内でも知られるほど新しい物好きで、様々な物を常にチェックし手に取り実際に使い、どう利用すればビジネスに生かせるか常に勉強し考えているように見受けられました。

YEGでの交流でも、様々な業種と出会い日々新しい情報、知識を深めることができ大変楽しいとおっしゃっていました。今回の取材で常に新しい事を聞き、見て、知る楽しさが服部さんのビジネスの原動力なんだなと感じました。

取材：太田(安)・山本(創)



心のそこから楽しんでいる笑顔でした



さすが!!印象に残る看板です



広くて綺麗な店舗、商談も気持ちよさそう



なるほどなお話たくさん聞けました